

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 22	20	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 84	100	ヘルパンギーナ	↘ 9	10
咽頭結膜熱	↗ 14	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 12	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 65	78	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 350	312	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 16	5
水痘	↘ 71	40	細菌性髄膜炎	↘ 0	1
手足口病	↘ 50	61	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 1	2	マイコプラズマ肺炎	↘ 4	5
突発性発しん	↗ 45	38	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 1	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- 水痘

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

手足口病 : 人吉
感染性胃腸炎 : 有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	5	23	8	24	59	15	17		17		1	2		16						1
山鹿保健所					16	13			2				*	*						
菊池保健所	1	16	1	12	84	22	5		5		1	3								
阿蘇保健所					3								*	*				1		
御船保健所				1	11								*	*						
八代保健所		10	1	6	27	2			4											
水俣保健所					5				4				1	*	*					
人吉保健所	2	10	3	10	14	2	21	1				6	*	*					2	
有明保健所	11	1		5	101	3	1		8		2									
宇城保健所	3	18	1	5	16	10	3		3				*	*						
天草保健所		6		2	14	4	3		2		5								1	
計	22	84	14	65	350	71	50	1	45	0	9	12	0	16	0	0		4	0	1

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	22			1	1	1	1	2	1		2		3	1	1			2	5			1
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	84	11	18	34	16	4	1															
咽頭結膜熱	14	1	1	4	3	1		2	1	1												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65			2	4	5	7	9	4	11	6	4	11		2							
感染性胃腸炎	350	5	23	72	44	22	25	19	30	20	14	28	4	24								
水痘	71	2	2	14	16	12	7	7	6	2	2	1										
手足口病	50		3	18	12	8	5	2	1													
伝染性紅斑	1					1							1									
突発性発しん	45	1	19	21	3	1																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	9	1		3	3	1					1											
流行性耳下腺炎	12			1		3	1	2	1	1			3									
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	16				1	1		1								3	6	3				1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	4				1						1							1				
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1		1																			

この冬は昨年度に比べると感染性胃腸炎の報告数は少なく推移していますが、除々に増加傾向にあり、今週は前週より38件増え350件の報告がありました。地域別に見ると、有明では1地点あたりの患者報告数が警報基準を越えています。菊池でも定点あたりの患者報告数が警報基準に達する勢いであり、今後、感染地域が拡大していくと思われます。

感染性胃腸炎が県北で増加しています

冬に流行する感染性胃腸炎の原因の多くは、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものです。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもさんやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて亡くなることがあります。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療も対症療法に限られますので、周りの方々と一緒に以下の予防対策を徹底しましょう。

予防対策

- 患者さんの便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されていますので、(1)食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。(2)下痢や嘔吐などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。(3)胃腸炎の患者さんに接する方は、患者さんの便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。
- 特に、子どもさんやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等も使用後に洗浄、殺菌しましょう。



KKT医療ナビ! Dr. Televitan

KKT 医療ナビ! Dr. Televitan

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課